

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

目的や行動を書き留めておく 中村 邦夫 (松下電器会長)

1. 人は指示や命令で生き生きわくわくと動くものではない。組織は 1 人で動かせるものでもない。抜本的な改革を成すには、全員で取り組む姿勢が必要だ。チームとして貢献することを意識し、率先垂範を心がけてから良循環が生まれる。そしてなにより、成果をあげる能力は天賦の才ではなく、努力によって身につけられるものである。
2. ドラッカーの言葉に、「古いものの計画的な廃棄こそ、新しいものを強力に進める唯一の方法」というものがある。すでに機能しなかったものに資源を投じてはならないのだ。永遠に通用する組織形態などない。環境変化に合わせて変わらなければならない。これは、松下幸之助の「日に新た」の考え方に通じる。
3. すべてのプロフェッショナルに求められる基本的な要件が自己管理である。知識労働者は余分な仕事に忙殺される一方である。些事に足をすくわれていては、目的を達成し、成果をあげることなどままならない。そうした事態を避けるには、目的や行動を常に意識しておく必要がある。それには、書き留めておくのが一番だ。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2006年11月11日号)

幹部への活きた言葉

会社の基礎は管理職

1. 会社の基礎は管理職である。スポーツでも強いチームほど基礎がしっかりしている。会社も基礎、つまり中間管理職がきっちり機能しているところほど強いものだ。組織の各層に優れたリーダーがおり、常に高い活力を維持できれば、会社はおのずと成長していく。
2. 管理職の役割はトップの方針を部下に伝えることだけではない。部下に方針を納得させ、理解させ、行動させなければならない。その機能を果たす管理職は、確かに会社の要となる。その管理職の定義とは、目的とする成果を達成するために、部下の積極的な協力や参加を引き出すこと。部門の実績もさることながら、部下の創造性を引き出すことが真のマネジメントである。

(参考:「日経ビジネス」:2006年11月6日号)

人事・労務について

正社員化の道

1. 大和証券には派遣社員が約 1000 人いたが、正社員への登用試験を行い、昨年 10 月から約 150 人の派遣社員が正社員となった。鈴木社長は「会社は長年働いてくれている派遣社員たちによって支えられてきたのに、今まで正社員の道を閉ざしていて申し訳けなかった」と謝った。
2. また、これまで、派遣の人は正社員になる気がないのだと思っていた。ところが、地方支店で話しをしていて“正社員になりたいのに道がないのだ”と気づいた。給与は派遣社員とそれほど変わらない。それでも彼らのモチベーションが大変に上がっている。その影響を受け、もともとの正社員の志気も高まっている。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2006年11月18日号)

古典に学ぶ

学問は自分のためにすべし

「学は己の為にするを知るべし。これを知る者は必ず之を己に求む。これ心学なり」

(訳) 学問は己の修養のためにするものだという事を知るべきだ。これを知る者は必ずこれを自分に求める。これが心を修める学問である。

(参考:佐藤一斎「言志四録」:PHP文庫)